

土木工事成績評定基準

(目的)

第1 この基準は農林水産局の所掌する事業に係る請負工事の成績評定（以下「評定」という。）に必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定の実施を図り、もって受注業者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

(評定の対象)

第2 評定の対象は、原則として1件の請負金額が500万円以上の請負工事について行うものとする。ただし、引渡しを受ける目的物がない工事又は簡易な維持補修工事については、評定の対象外とすることができるものとする。

(評定の内容)

第3 評定は、次の考査項目ごとに、加減点方式により行うものとする。

考査項目	細 別
1 施 工 体 制	①施工体制一般 ②配置技術者
2 施 工 状 況	①施工管理 ②工程管理 ③安全対策 ④対外関係
3 出来形出来ばえ	①出来形 ②品質 ③出来ばえ
4 工 事 特 性	
5 創 意 工 夫	
6 社 会 性 等	
7 法 令 遵 守 等	① 法令遵守等 ②評価内容の担保(総合評価方式による発注の場合)

(評定者)

第4 完成検査において工事成績の評定を行う者（以下「評定者」という。）は、検査員、総括監督員及び立会人とする。

検査員とは、広島県農林漁業土木工事検査要領（以下「検査要領」という。）第4条第2項、第3項又は第4項の定めにより完成検査を行う職員並びに検査要領第11条に規定する委託検査にあつては受託者とする。総括監督員とは、農林漁業土木工事監督要綱第5条第2項の定めにより総括監督員に指定された職員とする。立会人とは、検査要領第10条の定めにより立会する場合はその監督職員とし、農林漁業土木工事監督要綱第5条第2項の定めにより総括監督員又は主任監督員に指定された職員とする。

2 中間検査における評定者は、検査員とする。

検査員とは、検査要領第4条第2項又は第3項の定めにより中間検査を行う職員並びに検査要領第11条に規定する委託検査にあつては受託者とする。

(評定の方法)

第5 完成検査における評定は、別紙－1、別紙－2、別紙－3及び別紙－5の「工事成績評点の考査項目別運用表」、別紙－4の「記入方法及び留意事項」に基づいて、様式－1の「工事成績評定表」及び様式－2の「細目別評定点採点表」を作成する。

2 中間検査における工事成績の評定は、別紙－3及び別紙－5の「工事成績評点の考査項目別運用表」、別紙－4の「記入方法及び留意事項」に基づいて、様式－1の「工事成績評定表」及び様式－2の「細目別評定点採点表」を作成する。

- 3 完成検査における総括監督員及び立会人である評定者は、検査員の評定に先立って評定を行うものとする。
- 4 完成検査員である評定者は、中間検査において評定を行う場合には、当該工事の監督職員から施工体制及び施工状況等について確認し評定する。
- 5 評定者は、別紙―1、別紙―2、別紙―3及び別紙―5の「工事成績評点の考査項目別運用表」の各欄に「その他」とある場合は、当該工事の特性を考慮し他の事項と同程度のものを追加することが出来るものとする。
- 6 所見は、評定にあたり特記事項のある場合に記入するものとする。

(評定結果の提出)

- 第6 検査員である評定者は、評定を行ったときは、遅滞なく、発注者に「工事成績評定表」、「細目別評定点採点表」及び「工事成績評点の考査項目別運用表」を検査調書（建設工事請負契約約款（以下「契約約款という。」第31条、第38条関係）に付して提出するものとする。

(評定の結果の通知)

- 第7 発注者は、完成検査の終了後、評定者から評定結果の提出があったときは、遅滞なく、当該工事の請負者に対して、別に定めるところにより、評定の結果を通知するものとする。

(評定の修正)

- 第8 発注者は、第7の通知をした後、当該評定の修正が必要であると認められる場合には、修正を行わなければならない。
- 2 発注者は、前項の修正を行ったときは、遅滞なく、当該工事の受注者に対して、その結果を通知するものとする。

(説明請求等)

- 第9 第7又は第8による通知を受けた者は、通知を受けた日から起算して14日（広島県の休日を定める条例（平成元年条例第2号）に定める「県の休日」を含む。）以内に、書面により、発注者に対して評定の内容について説明を求めることができるものとする。
- 2 発注者は、前項による説明を求められたときは、書面により回答するものとする。

附 則

この基準は、平成13年10月1日から適用する。

広島県農林漁業土木工事成績評定要領（平成12年4月1日制定）は廃止する。

この基準は、平成19年6月1日に一部改正し、適用する。

この基準は、平成20年6月1日に一部改正し、適用する。

この基準は、平成21年5月1日に一部改正し、適用する。

この基準は、平成22年6月1日に一部改正し、適用する。

この基準は、平成23年6月1日に一部改正し、適用する。

この基準は、平成24年7月1日に一部改正し、適用する。

この基準は、平成27年1月16日に一部改正し、適用する。

この基準は、平成27年4月1日に一部改正し、適用する。

この基準は、平成28年3月1日に一部改正し、適用する。

この基準は、平成29年4月1日に一部改正し、適用する。

この基準は、平成29年6月1日に一部改正し、適用する。

この基準は、平成30年4月1日に一部改正し、適用する。

工事成績評定表及び工事成績評点の考査項目別運用表

目 次

工事成績評定表	
様式－１	２
<u>細目別評定点採点表</u>	
様式－２	３
工事成績評点の考査項目別運用表	
別紙－１（立会人）	４
別紙－２（総括監督員）	１２
別紙－３（検査員）	１７
別紙－４（記入方法及び留意事項）	３９
別紙－５（農林土木工事専用表）	４０

工 事 成 績 評 定 表

工事名		請負代金額																													
受注者名																															
考 査 項 目		立会人※6						総括監督員						検査員(中間) 第1回						検査員(中間) 第2回						検査員(完成)					
		氏名			氏名			氏名			氏名			氏名			氏名			氏名			氏名			氏名					
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e				
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																									
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																									
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0				
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15.0																		
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15.0																		
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																									
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0							+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0					
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0							+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0					
出来ばえ	III. 出来ばえ												+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0						
	4. 工事特性							+20.0	～	0																					
5. 創意工夫	I. 創意工夫※3	+7.0	～	0																											
6. 社会性等	I. 地域への貢献等						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0																				
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		＋－		． 点		①		． 点		②		． 点		＋－		． 点		③		． 点		＋－		． 点		④		． 点			
評定点(65±加減点合計) ※1																															
評定点計		_____点 ・ 中間検査があった場合 ①×0.4+②×0.2+ (③の平均) ×0.2+④×0.2 ・ 中間検査が無かった場合 ①×0.4+②×0.2+④×0.4																													
7. 法令遵守等	I. 法令遵守等																														
	※4 II. 評価内容の担保																														
評定点合計(評定点計-法令遵守等)																															
所見※5	(立会人) (総括監督員) (検査員)																														

※1. 各評定点 (①～④) は小数点第1位まで記入。

※2. 工事特性は、当該工事の難度の高い条件 (構造物の特殊性、特殊な技術、特殊な設備、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等) に対して適切に対応したことを評価する項目である。

評価に際しては、立会人からの報告を受けて総括監督員が評価するものとする。

※3. 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。

※4. 4, 5, 6 は加減評価のみとする。また、法令遵守等は減点評価のみとする。

※5. 所見は特記事項のある場合に記載する。

※6 立会人の審査項目 (細別) のうち、「I 出来形」、「II 品質」については、検査員が評価するものとする。

※7. 各審査項目ごとの採点は、立会人は別紙－1、総括監督員は別紙－2、検査員は別紙－3によるものとする。

細目別評定点採点表

工事名：

調査項目	細 別	①立会人	②総括監督員	③検査員（中間）	④検査員（完成）	細目別評定点	得点割合
1. 施工体制	I. 施工体制一般	(1.0) ×0.4+2.9= 3.30 点				3.3 点 ／ 3.3 点	3.3%
	II. 配置技術者	(3.0) ×0.4+2.9= 4.10 点				4.1 点 ／ 4.1 点	4.1%
2. 施工状況	I. 施工管理	(4.0) ×0.4+2.9= 4.50 点		(5.0) ×0.4+6.5= 8.50 点	(5.0) ×0.4+6.5= 8.50 点	13.0 点 ／ 13.0 点	13.0%
	II. 工程管理	(4.0) ×0.4+2.9= 4.50 点	(2.0) ×0.2+3.2= 3.60 点			8.1 点 ／ 8.1 点	8.1%
	III. 安全対策	(5.0) ×0.4+2.9= 4.90 点	(3.0) ×0.2+3.3= 3.90 点			8.8 点 ／ 8.8 点	8.8%
	IV. 対外関係	(2.0) ×0.4+2.9= 3.70 点				3.7 点 ／ 3.7 点	3.7%
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	(4.0) ×0.4+2.8= 4.40 点		(10.0) ×0.4+6.5= 10.50 点	(10.0) ×0.4+6.5= 10.50 点	14.9 点 ／ 14.9 点	14.9%
	II. 品質	(5.0) ×0.4+2.9= 4.90 点		(15.0) ×0.4+6.5= 12.50 点	(15.0) ×0.4+6.5= 12.50 点	17.4 点 ／ 17.4 点	17.4%
	III. 出来ばえ			(5.0) ×0.4+6.5= 8.50 点	(5.0) ×0.4+6.5= 8.50 点	8.5 点 ／ 8.5 点	8.5%
4. 工事特性	I. 施工条件への対応		(20.0) ×0.2+3.3= 7.30 点			7.3 点 ／ 7.3 点	7.3%
5. 創意工夫	I. 創意工夫	(7.0) ×0.4+2.9= 5.70 点				5.7 点 ／ 5.7 点	5.7%
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		(10.0) ×0.2+3.2= 5.20 点			5.2 点 ／ 5.2 点	5.2%
7. 法令遵守等	I. 法令遵守等		(0.0) ×1.0= 0.00 点				0.0%
	II. 評価内容の担保		(0.0) ×1.0= 0.00 点				0.0%
評定点合計						100.0 点 ／100.0 点	

※ 中間検査があった場合 ①+②+③×0.5+④×0.5＝細目別評定点 ③は中間検査の平均点
中間検査がなかった場合 ①+②×④＝細目別評定点

※ 得点割合は、細目別評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。
※ 端数処理の関係で評定点合計と細目別評定点の計が異なる場合がある。

考查項目別運用表

考 査 項 目		細 別		(立 会 人)		
2. 施工状況	I. 施工管理	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である

考查項目別運用表

考 査 項 目		細 別		(立 会 人)		
2. 施工状況		Ⅲ. 安全対策				
		a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		理由：				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、安全対策について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 災害防止協議会等を1回／月以上行っている。				
		<input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日／月以上実施している。				
		<input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。				
		<input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。				
		<input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。				
		<input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。				
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				
		●評価対象項目				
		<input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。				
		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。				
		<input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。				
		<input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。				
		<input type="checkbox"/> その他				
		理由：				
		●判断基準				
		評価値が 90%以上……………a				
		評価値が 80%以上 90%未満……………b				
		評価値が 80%未満……………c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。				
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()				
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。				
		c				
		他の評価に該当しない				
		b				
		ほぼ適切である				
		a				
		適切である				

考查項目別運用表

【別紙－1④は検査員が評価し評価結果を記入する】（立 会 人）

考 査 項 目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	<div><input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われ、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね 50%以内である。</div>	<div><input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われ、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね 80%以内である。</div>	<div><input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われ、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。</div>	<div><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。</div>	<div><input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。</div>
I. 出来形	<div>※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。</div> <div><div>① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。</div><div>② 出来形とは、設計図書に示された工事的目的物の形状及び寸法をいう。</div><div>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりかきたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。</div><div>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</div></div>				
機械設備工事	a	b	c	d	e
※ 上記欄によらず、当該欄で評価	<div>適切である</div>	<div>ほぼ適切である</div>	<div>他の評価に該当しない</div>	<div><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。</div>	<div><input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。</div>
	<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。</div> <div><input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。</div> <div><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。</div> <div><input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。</div> <div><input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。</div> <div><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。</div> <div><input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。</div> <div><input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由： <div></div></div> <div>●判断基準</div> <div>評価値が 80%以上……………a</div> <div>評価値が 60%以上 80%未満……………b</div> <div>評価値が 60%未満……………c</div> <div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</div><div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div><div>③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()</div><div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</div></div>				

考查項目別運用表

【別紙-1⑤は検査員が評価し評価結果を記入する】(立会人)

考 査 項 目	工 種	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/>	e 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
3. 出来形及び出来ばえ I . 出来形	電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事 ※上記欄によらず、当該欄で評価	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定（取巻）結果が、その精度管理図表などに記録され、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 設備の据付け及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。 <input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを、定期的に実施している。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> その他 <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-top: 10px;">理由：</div>				
<p>●判断基準</p> <p>評価値が80%以上……………a 評価値が60%以上80%未満……………b 評価値が60%未満……………c</p>						

考査項目別運用表

【別紙－1⑥は検査員が評価し評価結果を記入する】(立 会 人)

考 査 項 目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね 50%以内である。 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。 <div> ① 品質の評価は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事的目的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で品質管理を行うものである。 ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 </div>	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね 80%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約約款第 17 条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
機械設備工事 ※ 上記欄によらず、当該欄で評価	a 適切である ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）の内容が設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能を、承諾図書のとおり確保している。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承諾図書のとおり配置し、操作性にすぐれている。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおり機能している。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおり敷設している。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫している。 <input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。 <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしている。 <input type="checkbox"/> 建造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他 <div>理由： <div></div> </div>	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	e 契約約款第 17 条に基づき、監督職員が改造請求を行った。

●判断基準
 評価値が 80%以上 a
 評価値が 60%以上 80%未満 b
 評価値が 60%未満 c

① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合には c 評価とする。

考查項目別運用表

【別紙-1⑦は検査員が評価し評価結果を記入する】(立 会 人)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事 ※ 上記欄によらず、当該欄で評価	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
	<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。</div> <div><input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足している。</div> <div><input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめている。</div> <div><input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおりに配置され、操作性に優れている。</div> <div><input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。</div> <div><input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。</div> <div><input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）している。</div> <div><input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由： <div></div></div> <div>●判断基準</div> <div>評価値が 80%以上……………a</div> <div>評価値が 60%以上 80%未満……………b</div> <div>評価値が 60%未満……………c</div> <div>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</div> <div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div> <div>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div> <div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</div>					
	維持・修繕工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
	<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。</div> <div><input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。</div> <div><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。</div> <div><input type="checkbox"/> 理由： <div></div></div> <div><input type="checkbox"/> 理由： <div></div></div> <div><input type="checkbox"/> 理由： <div></div></div> <div><input type="checkbox"/> 理由： <div></div></div> <div>●判断基準</div> <div>該当項目数が6項目以上……………a</div> <div>該当項目数が4項目以上……………b</div> <div>該当項目数が3項目以上……………c</div> <div>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</div>					

考查項目別運用表

(総括監督員)						
考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		●評価対象項目 <div><input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行なったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取組みが見られた。 <input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由：</div> ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e 評価を行う。				
	Ⅲ. 安全対策	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		●評価対象項目 <div><input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取組みが顕著であった。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に係る取組みが地域から評価された。 <input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由：</div> ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e 評価を行う。				

考査項目別運用表

(総括監督員)

考 査 項 目	細 別	対 応 事 項	【 事 例 】 具 体 的 な 施 工 条 件 等 へ の 対 応 事 例
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応	I 構造物の特殊性への対応 <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深さ等の規模が特殊な工事 <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることから、施工条件が特に変化する工事 <input type="checkbox"/> 3. その他 理由： ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば 4点の加点 とする。	(1. について) 切土の土工量：20万㎡以上、盛土の土工量：15万㎡以上、護岸・築堤の平均高さ：10m以上、トンネル(トンネル)の直径：8m以上、ダム用水門の設計水深：25m以上、樋門又は樋管の中空断面積：15㎡以上、揚排水機場の吐出口管径：2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長：25m以上、堰又は水門の径間数：3径間以上、堰又は水門の扉体面積：50㎡/門以上、トンネル(開削工法)の開削深さ：20m以上、トンネル(NATM)の中空平均面積：100㎡以上、トンネル(沈埋工法)の中空平均面積：300㎡以上、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深：10m以上、地滑り防止工：幅100m以上かつ法長150m以上、浚渫工の浚渫土量：100万㎡以上、流路工の計画高水流量：500㎡以上、砂防ダムの堤高：15m以上、ダムの堤高：150m以上、転流トンネルの流下能力：400㎡/s以上、橋梁下部工の高さ：30m以上、橋梁上部工の最大支間長：100m以上 (2. について) ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 (3. について) ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山傾度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。
		II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応 <input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 <input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 <input type="checkbox"/> 8. 緊急時に対応が特に必要な工事 <input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 <input type="checkbox"/> 10. その他 理由： ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば 6点の加点 とする。	(4. について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5. について) ・ガス管、水道管、電線等の支障物件の検出について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 (6. について) ・市街地での夜間工事。 ・DID地区での工事。 (7. について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大枠にわたって、交通開放を行うため規制橋梁の設置撤去を日々行った工事。 (8. について) ・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。 (9. について) ・作業現場が広範囲に分布している工事。 (10. について) ・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
		III 厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 <input type="checkbox"/> 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> 15. その他 理由： ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば 4点の加点 とする。	(11. について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎等に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多ことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある工事。 (12. について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 (13. について) ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要がある工事（法面工は除く）。 ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 (14. について) ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事 ・イヌワシ等の猛禽などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事 (15. について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうら特に評価すべき事項が認められる工事
		IV 長期工事における安全確保への対応 <input type="checkbox"/> 16. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事（全面一時中止期間は除く） ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 <input type="checkbox"/> 17. その他 理由： ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば 6点の加点 とする。	
	評 価	評 点：_____点	

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
※2. 立会人が評価する「15. 創意工夫」との二重評価は行わない
※3. 評価にあたっては、立会人等の意見も参考に評価する。

考查項目別運用表

(総括監督員)					
考 査 項 目	細 別	a	a'	b'	c
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている
		他の評価に該当しない			
<div>●評価対象項目</div> <div><div><input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。</div><div><input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</div><div><input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</div><div><input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。</div><div><input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</div><div><input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</div><div><input type="checkbox"/> その他</div></div> <div>理由：</div>					
<div>●判断基準</div> <div>※上記該当項目を総合的に判断して、a, a', b, b', c 評価を行う。</div>					

考查項目別運用表

(総括監督員)

考 査 項 目		細 別	法令遵守等の該当項目一覧		
7.法令遵守等		I. 法令遵守等			
			措 置 内 容	点 数	
			<input type="checkbox"/> 1. 指名除外3ヶ月以上	-20 点	
			<input type="checkbox"/> 2. 指名除外2ヶ月以上3ヶ月未満	-15 点	
			<input type="checkbox"/> 3. 指名除外1ヶ月以上2ヶ月未満	-13 点	
			<input type="checkbox"/> 4. 指名除外2週間以上1ヶ月未満	-10 点	
			<input type="checkbox"/> 5. 文書注意	- 8 点	
			<input type="checkbox"/> 6. 口頭注意	- 5 点	
			<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意 以上の処分が行われなかった場合	- 3 点	
			<input type="checkbox"/> 8. その他 理由：_____}	- 点	
			<input type="checkbox"/> 9. 項目該当なし		
			<p>① 本考查項目（7.法令遵守等）で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。</p> <p>② 「施工」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。</p>		
			<p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <p>1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。</p> <p>2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。</p> <p>3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</p> <p>4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。</p> <p>5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は告訴された。</p> <p>6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。</p> <p>7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。</p> <p>8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</p> <p>9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。</p> <p>10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。</p> <p>11. 通称職等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。</p> <p>12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。</p> <p>13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</p> <p>14. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。</p>		

考査項目別運用表

（総括監督員）

考 査 項 目	細 別	総合評価方式における価格以外のその他の条件に係る評価内容の担保一覧			
7. 法令遵守等	Ⅱ. 評価内容の担保	各評価項目の履行状況			
		<input type="checkbox"/> 工期設定の適切性	[理由：]]	-5 点	
		<input type="checkbox"/> 「施工に関する課題」に対する技術提案	[理由：]]	-5 点 -10 点 -15 点	1 提案につき-5 点とし、 下限値を-15 点とする。
		<input type="checkbox"/> 「品質に関する課題」に対する技術提案	[理由：]]	-5 点 -10 点 -15 点	1 提案につき-5 点とし、 下限値を-15 点とする。
		<input type="checkbox"/> 「 ____に関する課題」に対する技術提案	[理由：]]	-5 点 -10 点 -15 点	1 提案につき-5 点とし、 下限値を-15 点とする。
		<input type="checkbox"/> 情報化施工技術の活用	[理由：]]	-5 点	
		<input type="checkbox"/> 主任（監理）技術者の保有する専門資格	[理由：]]	-5 点	
		<input type="checkbox"/> 過去の工事成績 3 件の平均点（実績評価 2 型は最高点）	[理由：]]	-5 点	
		<input type="checkbox"/> 過去の主任（監理）技術者の同種・同規模工事の施工経験の有無（実績評価型は同一業種）	[理由：]]	-5 点	
		<input type="checkbox"/> 施工経験工事の従事役職	[理由：]]	-5 点	
		<input type="checkbox"/> 継続教育（CPD）の取組み	[理由：]]	-5 点	
		<input type="checkbox"/> 優秀技術者の表彰		-5 点	
		<input type="checkbox"/> その他	[理由：]]	-5 点	
		<input type="checkbox"/> 該当なし			
				本評価項目で評価する事例は、「総合評価方式で発注した工事の施工にあたり、価格以外のその他の条件に係る評価内容に対し、次の適応事例があった」場合に適用する。 ただし、受注者の責によらないものを除く。 【上記で評価する場合の適応事例】 1. 「各工程の工期が適切で、工夫があり、工期短縮が見られる」と評価した工事について、工夫するとした施工計画を実施しなかった場合 2. 「施工に関する課題」に対する各技術提案について、実施しなかった場合 3. 「品質に関する課題」に対する各技術提案について、実施しなかった場合 4. 情報化施工技術の活用について、正当な理由なく実施しなかった場合 5. 主任（監理）技術者の保有する資格、専門資格、過去の工事成績、過去の同種・同規模工事の施工経験、経験工事の従事役職、継続教育（CPD）の取組み、優秀技術者の表彰等の各評価内容について評価した工事において、 評価した配置予定技術者と異なる技術者を配置した場合で、当該技術者の各得点が配置予定技術者の得点を下回る評価内容がある場合	
	評価	評価点： - 点 ※ ・総合評価方式における価格以外のその他の条件に関して、受注者の責により、評価の内容が満足されなかった場合、減点評価する。 ・各評価項目の減点の累計について下限値は設けない。			

考查項目別運用表

考 査 項 目		細 別		(検 査 員)					
2. 施工状況		Ⅰ. 施工管理							
		a	b	c	d	e			
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている			
●評価対象項目		<div>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</div> <div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div> <div>③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()</div> <div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</div>					<div><input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由：</div>	<div><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</div>	<div><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</div>
●判断基準									
評価値が90%以上……………a									
評価値が80%以上90%未満……………b									
評価値が80%未満……………c									

考查項目別運用表

考 査 項 目		工 種		(検 査 員)						
3. 出来形及び出来ばえ		電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事		a	a'	b	b'	c	d	e
I. 出来形		※ 上記欄によらず、当該欄で評価		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 機器等の測定（試験）結果が、その精度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</div> <div><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</div> <div><input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由： <div></div></div> <div>●判断基準</div> <div>評価値が90%以上……………a</div> <div>評価値が80%以上90%未満……………a'</div> <div>評価値が70%以上80%未満……………b</div> <div>評価値が60%以上70%未満……………b'</div> <div>評価値が60%未満……………c</div> <div>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</div> <div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div> <div>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div> <div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</div>										

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙－4 参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び脚込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分にしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及び積み合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床箱箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 理由：						
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。						

●判断基準	
	ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える
90%以上	a a' b b'
75%以上 90%未満	a' a'' b' b''
60%以上 75%未満	b' b'' c c'
60%未満	b'' c c'
評価値	c

工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
鋼橋工事 (RC 床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙－4 参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	●評価対象項目 【工場製作関係】 <input type="checkbox"/> 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種クレン後4時間以内金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由：						
注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。							

●判断基準	
	ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える
90%以上	a a' b b'
75%以上 90%未満	a' a'' b' b''
60%以上 75%未満	b' b'' c c'
60%未満	b'' c c'
評価値	c

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井工事を含む)	<div><div><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>[関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4 参照。</div><div>●評価対象項目【共通】<ul style="list-style-type: none">コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っている。地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。鉄筋及び鋼材の品質が、証明書書類で確認できる。有害なクラックが無い。その他</div><div>理由：</div></div>						<div><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</div>	<div><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</div>																												
Ⅱ. 品質		<div><div>【砂防構造物工事に適用】<ul style="list-style-type: none">コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。その他</div><div>理由：</div></div>						<div>●判断基準<table><tr><td></td><td colspan="2">ばらつきで判断可能</td><td colspan="2">ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上 90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上 75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr></table></div>				ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上 90%未満	a'	b	b'	60%以上 75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b																																	
	75%以上 90%未満	a'	b	b'																																	
	60%以上 75%未満	b	b'	c																																	
	60%未満	b'	c	c																																	
<div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはcの評価とする。</div> <div>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</div>																																					

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	<div><div><div><input type="checkbox"/>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4 参照。</div></div><div><div>●評価対象項目</div><div>【路床・路盤工関係】</div><div><div><input type="checkbox"/>設計図書に定められた試験方法でCBR 値を測定していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>路床盛土において、一層の仕上がり厚を 20cm 以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>その他</div><div>理由：</div></div></div></div> <div><div><input type="checkbox"/>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</div><div><input type="checkbox"/>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</div></div>						
II. 品質		<div><div>【アスファルト舗装工関係】</div><div><div><input type="checkbox"/>アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>アスファルト混合物の運輸及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>その他</div><div>理由：</div></div><div><div>【コンクリート舗装工関係】</div><div><div><input type="checkbox"/>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>チェアー及びタイヤを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/>その他</div><div>理由：</div></div><div>注 試験結果の打点数等が少くばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</div></div></div>						

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。

③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）

④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には c 評価とする。

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上 75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督職員が文書で指示を行い改善された。																															
Ⅱ. 品質		<div>● 評価対象項目</div> <div>【共通】</div> <div><input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法枠工，コンクリート又はモルタル吹付工関係）</div> <div><input type="checkbox"/> 施工に際して，品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり，法面の崩壊が起らないよう締固めを十分行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように，排水対策を実施していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div> <div>【種子吹付工，客土吹付工，植生基材吹付工関係】</div> <div><input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類，品質，配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div> <div>【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</div> <div><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類，品質及び配合が，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が，10cm 以上確保されていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において，事前に吸水させてから施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて 2 層以上に分割して施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が，当該現場の供試体であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり，地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div> <div>【現場打法枠工関係（プレキャスト法枠工含む）】</div> <div><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類，品質及び配合が，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 現場養生が，設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div>						<div>① 当該「評価対象項目」のうち，評価対象外の項目は削除する。</div> <div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div> <div>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div> <div>④ なお，削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合には c 評価とする。</div>	<div>● 判断基準</div> <table><tr><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超え</td><td>ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>a'</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上 90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上 75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>		50%以下	80%以下	80%を超え	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能	90%以上	a	a'	b	a'	b	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'	b'	60%以上 75%未満	b	b'	c	c	c	60%未満	b'	c	c	c	c
	50%以下	80%以下	80%を超え	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能																																		
90%以上	a	a'	b	a'	b																																		
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'	b'																																		
60%以上 75%未満	b	b'	c	c	c																																		
60%未満	b'	c	c	c	c																																		

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

考查項目別運用表

考 査 項 目		工 種					検 査 員				
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	a	a'	b	b'	c	d	e			
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。			
		●評価対象項目 【杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）】 <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に 2m 以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナーブレードの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由：									
基礎工事及び地盤改良工事		●評価対象項目 【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由：					注 試験結果の打点数等が少くばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。				
海岸工事		a	a'	b	b'	c	d	e			
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。			
		●評価対象項目 ● コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 ● 運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ● 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 ● コンクリートブロックの配置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。 ● 転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。 ● 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 ● 工事期間中、1 日 1 回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 ● 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び迅速設備の対策を講じていることが確認できる。 ● その他 理由：									
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。					注 試験結果の打点数等が少くばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。				
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。					注 試験結果の打点数等が少くばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。				

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

●判断基準

	ばらつきで判断可能		80%を超え	80%を超えない
	5%以下	8%以下		
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上 90%未満	a	b	b'
	60%以上 75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはe評価とする。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはe評価とする。

●判断基準

	ばらつきで判断可能		80%を超え	80%を超えない
	5%以下	8%以下		
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上 90%未満	a	b	b'
	60%以上 75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ	植栽工事	<div><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。</div>						<div><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</div>	<div><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</div>																									
Ⅱ. 品質		<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がいけないことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 根生する樹木に応じて、余裕のある植穴を埋り植穴底部を耕していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div>																																
		<div>●判断基準</div> <table><tr><td></td><td>ばらつきで50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上 90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上 75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>評価値</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>							ばらつきで50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	90%以上	a	a'	b	b	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上 75%未満	b	b'	c	c	評価値	b'	c	c	c		
	ばらつきで50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能																														
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上 75%未満	b	b'	c	c																														
評価値	b'	c	c	c																														
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																
	防護柵（網）・標識・区画線等設置工事	a	a'	b	b'	c	d	e																										
		<div><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。</div>						<div><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</div>	<div><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</div>																									
		<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識・ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 防護柵等の床埋りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないよう施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> ガードケープルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> ガードケープルの端未支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div>																																
		<div>●判断基準</div> <table><tr><td></td><td>ばらつきで50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上 90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上 75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>評価値</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>							ばらつきで50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	90%以上	a	a'	b	b	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上 75%未満	b	b'	c	c	評価値	b'	c	c	c		
	ばらつきで50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能																														
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上 75%未満	b	b'	c	c																														
評価値	b'	c	c	c																														
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																				
3. 出来形 及び 出来ばえ	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙－4 参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																				
		<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、鋪設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかみつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由：</div>						<div><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</div>																				
Ⅱ. 品質		<div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</div> <div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div> <div>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div> <div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはe評価とする。</div>																										
		<div>●判断基準</div> <table><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を 判断不可能</td><td>ばらつきで 判断不可能</td></tr><tr><td>75%以上 90%未満</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>60%以上 75%未満</td><td>a'</td><td>a'</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>					評価値	90%以上	50%以下	80%以下	80%を 判断不可能	ばらつきで 判断不可能	75%以上 90%未満	a	a'	b	b	60%以上 75%未満	a'	a'	b'	b'	60%未満	b	b'	c	c	
評価値	90%以上	50%以下	80%以下	80%を 判断不可能	ばらつきで 判断不可能																							
	75%以上 90%未満	a	a'	b	b																							
	60%以上 75%未満	a'	a'	b'	b'																							
	60%未満	b	b'	c	c																							

注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

考查項目別運用表

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ Ⅱ. 品質	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等)	<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 理由：<div></div></div> <div><input type="checkbox"/> 理由：<div></div></div> <div><input type="checkbox"/> 理由：<div></div></div> <div><input type="checkbox"/> 理由：<div></div></div> <div>●判断基準</div> <div>※ 該当項目が 6 項目以上……………a</div> <div>※ 該当項目が 5 項目……………a'</div> <div>※ 該当項目が 4 項目……………b</div> <div>※ 該当項目が 3 項目……………b'</div> <div>※ 該当項目が 2 項目以下……………c</div> <div>注 記載の 4 項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大 8 項目とする。</div>						
	修繕工事 (橋脚補強、耐震 補強、落橋防止等)	<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 理由：<div></div></div> <div><input type="checkbox"/> 理由：<div></div></div> <div><input type="checkbox"/> 理由：<div></div></div> <div><input type="checkbox"/> 理由：<div></div></div> <div>●判断基準</div> <div>※ 該当項目が 6 項目以上……………a</div> <div>※ 該当項目が 5 項目……………a'</div> <div>※ 該当項目が 4 項目……………b</div> <div>※ 該当項目が 3 項目……………b'</div> <div>※ 該当項目が 2 項目以下……………c</div> <div>注 記載の 4 項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大 8 項目とする。</div>						
		a	a'	b	b'	c	d	e
		<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</div>						
		<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</div>						

考查項目別運用表

考 査 項 目	工 種	(検 査 員)				
		a	a'	b	b'	c
3. 出来形 及び 出来ばえ Ⅱ. 品質	機械設備工事	優れている	b より優れている	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない
		<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。</div> <div><input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</div> <div><input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</div> <div><input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。</div> <div><input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び乾燥練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 回配部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由：</div> <div>●判断基準</div> <div>※ 評価値が 90%以上 …………… a</div> <div>※ 評価値が 80%以上 90%未満 …………… a'</div> <div>※ 評価値が 70%以上 80%未満 …………… b</div> <div>※ 評価値が 60%以上 70%未満 …………… b'</div> <div>※ 評価値が 60%未満 …………… c</div> <div>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</div>				
電気設備工事	電気設備工事	優れている	a'	b	b'	c
		<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由：</div> <div>●判断基準</div> <div>※ 評価値が 90%以上 …………… a</div> <div>※ 評価値が 80%以上 90%未満 …………… a'</div> <div>※ 評価値が 70%以上 80%未満 …………… b</div> <div>※ 評価値が 60%以上 70%未満 …………… b'</div> <div>※ 評価値が 60%未満 …………… c</div> <div>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</div>				

考查項目別運用表

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	港湾築造工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、港湾工事品質管理基準、空港土木工事施工管理基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断は別紙－4 参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<div>● 評価対象項目</div> <div>【共通】</div> <div><input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由： <div></div></div> <div>【浸漬・床掘関係】</div> <div><input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されている。</div> <div><input type="checkbox"/> 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 土捨て場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっている。</div> <div><input type="checkbox"/> 土捨て場に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっている。（大型船による施工で、作業日数短縮等も含む）</div> <div><input type="checkbox"/> 土質に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。</div> <div><input type="checkbox"/> 浸漬・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 浸漬又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 置換材の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由： <div></div></div> <div>【地盤改良関係】</div> <div><input type="checkbox"/> 改良材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の仕様を満足している。</div> <div><input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> サンドドレーン、砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一般的な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> ベーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したベーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録等から、設計図書に定められている事項が確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 前記以外の改良工法について、記録から設計図書に定められている事項が確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由： <div></div></div> <div>【マット、捨石及び均し関係】</div> <div><input type="checkbox"/> マット、捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石がゆがみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損がなく施工され、記録により確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍融の恐れのないものが使用されていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由： <div></div></div>						

考查項目別運用表

(検査員)

	<div>【本体：杭及び矢板、控工関係】<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 鋼材の規格・数量がミルシート等（現物照合を含む）で確認できる。<input type="checkbox"/> 鋼材の保管にあたり、変形及び塗層表面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。<input type="checkbox"/> 杭及び矢板に損傷及び修補痕がなく施工されていることが確認できる。<input type="checkbox"/> 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。<input type="checkbox"/> 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。<input type="checkbox"/> タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。<input type="checkbox"/> 溶接及び切断の品質管理に関して設計図書の様を満足している。<input type="checkbox"/> その他理由： </div>		
	<div>【本体：ケーソン据付、ブロック据付関係】<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。<input type="checkbox"/> ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。<input type="checkbox"/> コンクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。<input type="checkbox"/> ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。<input type="checkbox"/> ケーソンえい順に先立ち、気象・海象等を十分調査し、適切な時期を測定されていることが確認できる。<input type="checkbox"/> ケーソン注水時の隔壁の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。<input type="checkbox"/> ケーソン仮置き、据付の時期について、設計図書を満足するよう実施されていることが確認できる。<input type="checkbox"/> 中詰において海上漏出がないように施工されていることが確認できる。<input type="checkbox"/> その他理由： </div>		
	<div>【コンクリート関係】<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。<input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。<input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。<input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運輸時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）<input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。<input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。<input type="checkbox"/> 鉄筋（PC 鋼材含む）の品質が、証明書類で確認できる。<input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。<input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。<input type="checkbox"/> スベークサーを適切に配置し、鉄筋の腐りを確保している。<input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレプレクシオン管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前を実施していることが確認できる。<input type="checkbox"/> PC 鋼材の緊張及びクラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<input type="checkbox"/> プレストレンシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。<input type="checkbox"/> その他理由： </div>		

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）

④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc 評価とする。

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	a	a'	b	b
	a'	b	b'	b'
	b	b'	c	c
	b'	c	c	c

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート 構造物工事 砂防構造物工事 海岸工事 トンネル工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上……………a 該当4項目……………b 該当3項目……………c 該当2項目以下……………d	
	土工事 (盛土・築堤工事等)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上……………a 該当3項目……………b 該当2項目……………c 該当1項目以下……………d	
	切土工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上……………a 該当4項目……………b 該当3項目……………c 該当2項目以下……………d	
	護岸・根固・ 水制工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上……………a 該当3項目……………b 該当2項目……………c 該当1項目以下……………d	
	鋼橋工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接の均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上……………a 該当3項目……………b 該当2項目……………c 該当1項目以下……………d	
	地すべり防止工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当3項目以上……………a 該当2項目……………b 該当1項目……………c 該当項目なし……………d	
	舗装工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 舗装物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上……………a 該当4項目……………b 該当3項目……………c 該当2項目以下……………d	
	法面工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当3項目以上……………a 該当2項目……………b 該当1項目……………c 該当項目なし……………d	

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	基礎工事 (地盤改良等を含む)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが向える。 ※地盤改良はc評価とする。		●判断基準 該当3項目以上……………a 該当2項目……………b 該当1項目……………c 該当項目なし……………d	
	コンクリート橋 上部工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上……………a 該当4項目……………b 該当3項目……………c 該当2項目以下……………d	
	塗装工事 (工場塗装を除く)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> クレーンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上……………a 該当3項目……………b 該当2項目……………c 該当1項目以下……………d	
	植栽工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当3項目以上……………a 該当2項目……………b 該当1項目……………c 該当項目なし……………d	
	防護柵（網）工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上……………a 該当4項目……………b 該当3項目……………c 該当2項目以下……………d	
	標識工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋められている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上……………a 該当3項目……………b 該当2項目……………c 該当1項目以下……………d	
	区画線工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 相認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上……………a 該当3項目……………b 該当2項目……………c 該当1項目以下……………d	

考查項目別運用表

考 査 項 目		工 種	A	B	C	D
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ III. 出来ばえ	機械設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			●判断基準 該当 4 項目以上……………a 該当 3 項目……………b 該当 2 項目……………c 該当 1 項目以下……………d	
	電気設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電気的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			●判断基準 該当 5 項目以上……………a 該当 4 項目……………b 該当 3 項目……………c 該当 2 項目以下……………d	
	維持修繕工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			●判断基準 該当 3 項目以上……………a 該当 2 項目……………b 該当 1 項目……………c 該当項目なし……………d	
	電線共同溝工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			●判断基準 該当 3 項目以上……………a 該当 2 項目……………b 該当 1 項目……………c 該当項目なし……………d	
	通信設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電気的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 <input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			●判断基準 該当 5 項目以上……………a 該当 4 項目……………b 該当 3 項目……………c 該当 2 項目以下……………d	
	受変電設備工事					
上記以外の工事 又は 合併工事		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：			●判断基準 該当 4 項目以上……………a 該当 3 項目……………b 該当 2 項目……………c 該当 1 項目以下……………d	
		※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大 5 項目とする。				

考查項目別運用表

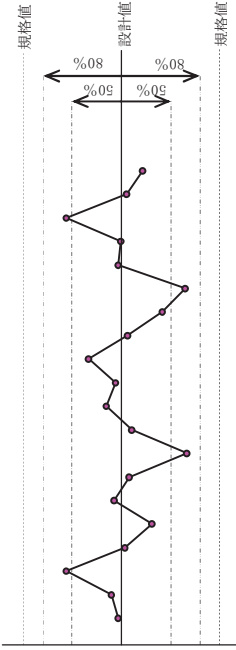
考 査 項 目		工 種	(検 査 員)		
			a	b	c
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない
3. 出来形 及び 出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ		港湾築造工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 構造物等の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等のきめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。(コンクリート工事が含まれる場合)	●判断基準 (コンクリート工事が含まれる場合) 該当5項目以上……………a 該当4項目……………b 該当3項目……………c 該当2項目以下……………d	d 劣っている (コンクリート工事がいない場合) 該当4項目以上……………a 該当3項目……………b 該当2項目……………c 該当1項目以下……………d
		港湾浚渫工事 (地盤改良工事を 含む)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 浚渫及び盛り上り等の土砂が適切に処理されている。	●判断基準 該当3項目以上……………a 該当2項目……………b 該当1項目……………c 該当項目なし……………d	
		ブロック製作工事 (ケーソン陸上製 作工事を含む)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当4項目以上……………a 該当3項目……………b 該当2項目……………c 該当1項目以下……………d	

- 1 出来形及び品質のばらつきの考え方（社内管理基準を定めている場合は、社内管理基準に対するばらつきで判断する。）

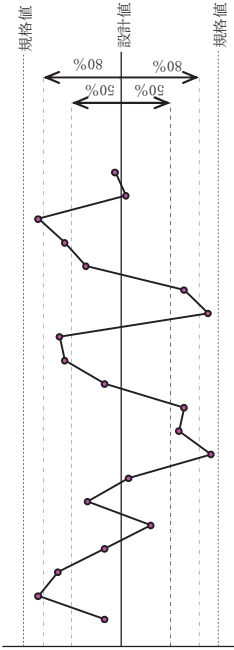
〔管理図の場合〕

（上・下限値がある場合）

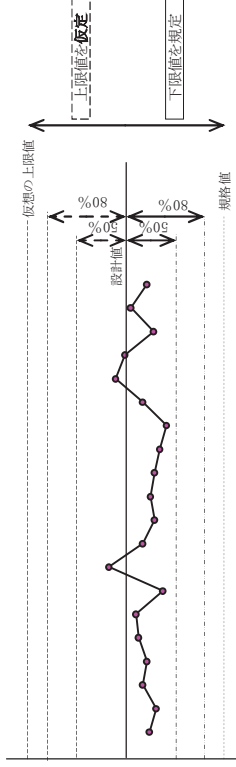
- ①ばらつきが50%以下と判断できる例



- ②ばらつきが80%以下と判断できる例

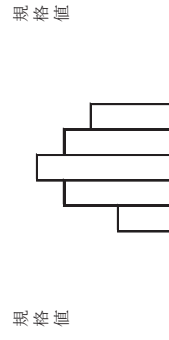


（下限値のみの場合）

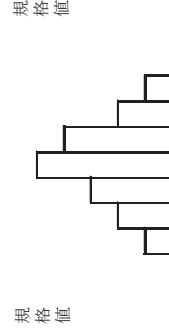


〔度数表またはヒストグラムの場合〕

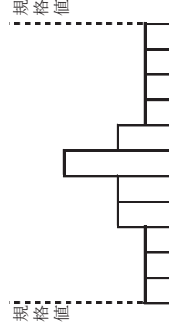
ばらつきが小さい



ばらついている



ばらつきが大きい



- 2 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
- (3) 評定は、「合併工事」欄を活用する。

5 農林土木工事専用表

魚礁工

ほ場整備工事

ため池工事

農林道開設工事

農地海岸工事

パイプライン工事

考查項目別運用表

考 査 項 目		工 種					
3. 出来形及び出来ばえ	魚礁工 (コンクリート一体打魚礁)	<input type="checkbox"/>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。				
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スベークサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> 据付の施工上の注意事項が守られている。(仕様書等による) <input type="checkbox"/> その他					
II. 品質		理由： <div></div>					
		●判断基準					
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 () ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。					
		品質関係の測定方法又は評価値が不適切であったため、監査職員が文書で指示を行い改善された。					
		品質関係の測定方法又は評価値が不適切であったため、監査職員が修補指示を行った。					
		(検査員)					

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																								
3. 出来形及び出来ばえ	魚礁工 (コンクリート組立魚礁)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。																																														
		<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験繰り返しを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む)</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の投量確認を行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> スベーパーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。</div> <div><input type="checkbox"/> 据付の施工上の注意事項が守られている。(仕様書等による)</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div>																																														
II. 品質		<div>●判断基準</div> <table><tr><td></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td colspan="3">ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td></td><td></td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td></td><td></td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td></td><td></td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能				50%以下	80%以下	80%を超える				評価値	90%以上	a	a'	b			75%以上90%未満	a'	b	b'			60%以上75%未満	b	b'	c			60%未満	b'	c	c			
			ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																										
	50%以下	80%以下	80%を超える																																													
評価値	90%以上	a	a'	b																																												
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																												
	60%以上75%未満	b	b'	c																																												
60%未満	b'	c	c																																													
		<div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</div> <div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div> <div>③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()</div> <div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</div>																																														

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	魚礁工 (鋼製組立魚礁)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
Ⅱ. 品質		<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 魚礁に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 据付の施工上の注意事項が守られている。（仕様書等による） <input type="checkbox"/> 溶接及び切断の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由：</div>						<div><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</div> <div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%計算)の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 () ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</div>	

●判断基準

	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能
評価値	90%以上	a'	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ	魚礁工(投石)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－４参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査職員が修補指示を行った。																											
		<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料が設計図書の仕様を満足しており, 品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 投石帯が一樣な形状に施工され, これが記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 投石帯設置の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 <input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由：</div>						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査職員が修補指示を行った。																											
Ⅱ. 品質		<div>① 当該「評価対象項目」のうち, 評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(％)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (％)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 () ④ なお, 削除後の評価対象項目数が２項目以下の場合はc評価とする。</div>																																	
		<div>●判断基準</div> <table><tr><td></td><td colspan="2">ばらつきで判断可能</td><td colspan="2">ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評 価 値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>								ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評 価 値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
評 価 値	90%以上	a	a'	b																															
	75%以上90%未満	a'	b	b'																															
	60%以上75%未満	b	b'	c																															
	60%未満	b'	c	c																															

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

考查項目別運用表

考 査 項 目		工 種		a	a'	b	b'	c	d	e	(検 査 員)																															
3. 出来形 及び 出来ばえ	は場整備工事	<div>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。</div>									品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
● 評価対象項目																																										
①整地工																																										
<div><input type="checkbox"/> 汚濁防止施設が目的どおり施工されたことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。</div> <div><input type="checkbox"/> 田面、畦畔に不等沈下が無い。</div> <div><input type="checkbox"/> 暗渠排水の位置、深さ、延長が設計どおりである。</div> <div><input type="checkbox"/> 法面勾配が設計どおりである。</div> <div><input type="checkbox"/> 田面に片寄りが無く均平に仕上げられている（基盤面及び表土面）。</div> <div><input type="checkbox"/> 排水渠の延長、型式が設計どおりであり、排水勾配が適切である。</div> <div><input type="checkbox"/> 田面の石礫が適切に除去されている。（基盤面及び表土面）。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div>																																										
②水路工																																										
<div><input type="checkbox"/> 材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリート二次製品納品時外観等確認記録簿が整理されている。</div> <div><input type="checkbox"/> 取水口、落水口が取排水に支障の無いよう設置されている。（位置、高さ等）</div> <div><input type="checkbox"/> 用水路・排水路の布設が設計どおりである。（勾配、高さ、既設接続等）</div> <div><input type="checkbox"/> 構造物の施工基面が平滑に仕上げられている。</div> <div><input type="checkbox"/> 重要構造物（ボックスカルバート、橋台等）支持地盤の確認できる資料がある。</div> <div><input type="checkbox"/> 構造物周りの入念な埋め戻し状況が確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 構造物の接合が適切で入念な仕上げが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 構造物に有害なクラックが無い。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div>																																										
● 判断基準																																										
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="2">ばらつきで判断可能</td><td colspan="2">ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>														ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能		50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																																						
		50%以下	80%以下	80%を超える																																						
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																					
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																					
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																					
	60%未満	b'	c	c	c																																					
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																										

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

考查項目別運用表

考 査 項 目		工 種	(検 査 員)			
			a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ		ほ場整備工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 田面、畦畔の仕上げが良好である。 <input type="checkbox"/> 湧水に対する対策が適切になされている。 <input type="checkbox"/> 構造物のとおりが良い。 <input type="checkbox"/> 田面高が均一である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物からの漏水がほとんど無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。	● 判断基準⑦ 該当6項目以上・・・a 該当5項目・・・b 該当4項目・・・c 該当3項目以下・・・d		

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	ため池工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<div>●評価対象項目</div> <div>【共通】</div> <div><input type="checkbox"/> 材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 雨水、湧水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</div> <div><input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div> <div>【築堤工関係】</div> <div><input type="checkbox"/> 施工条件に適した締め等適切に行っている</div> <div><input type="checkbox"/> 構造物周辺の締めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 築堤に伴う管理試験を適切に行い記録が整理されている。</div> <div><input type="checkbox"/> 法面保護等の材料の組み合わせ又裏込材が適切である。</div> <div><input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div> <div>【取水施設工・洪水吐工関係】</div> <div><input type="checkbox"/> 基礎地盤の処理を適切に行っている。</div> <div><input type="checkbox"/> 構造物周辺の締めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後には型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> ゲート等の機能が設計図書との適切性が確認でき、証明書が整備されている。</div> <div><input type="checkbox"/> 推進工の方向、角度が適性で施工上の注意事項(仕様書)が守られている。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div> <div>【ボーリング・グラウト工関係】</div> <div><input type="checkbox"/> ボーリング工の施工上の注意事項(仕様書)が守られている。</div> <div><input type="checkbox"/> グラウト工の施工上の注意事項(仕様書)が守られている。</div> <div><input type="checkbox"/> ボーリング・グラウト工の記録等が仕様書に定められている事項が確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div>						
II. 品質								

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()

④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能			
	50%以下	80%以下	80%を超える	80%を超える	50%以下	80%以下	80%を超える	80%を超える
90%以上	a	a'	a'	b	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a	a'	b	b'	a	a'	b	b'
60%以上75%未満	b	b'	b	c	b	b'	c	c
60%未満	b	b'	c	c	b	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

考查項目別運用表

考 査 項 目		工 種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	ため池工事	<div>● 評価対象項目</div> <div>【共通】</div> <div><input type="checkbox"/> 仕上げが良い、</div> <div><input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。</div> <div><input type="checkbox"/> 止水に対する適切な対応がなされ変状がない。</div> <div><input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。</div> <div><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</div> <div>● 判断基準</div> <div>評価区分は、８０％程度以上を「a」とする</div> <div>６０～８０％程度を「b」</div> <div>４０～６０％程度を「c」</div> <div>４０％程度以下を「d」</div> <div>※ 工事費に占める割合が単独工種で５０％を超える場合は、その工種単独で評定する。</div> <div>※ 単独工種で５０％に満たない場合は、工事費割合の大きい順に５０％を超えるまで、複数の工種を選定し総合的に評定する。</div>			
			<div>【築堤工関係】</div> <div><input type="checkbox"/> 構造物等へのすりつけが適切に行われている。</div> <div><input type="checkbox"/> 法面保護の材料のかみ合わせが良い、また植生等の状態が均一である。</div> <div><input type="checkbox"/> 土取場の整理、残土等は適切に処理されている。</div> <div>【取水施設工・洪水吐工関係】</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。</div> <div><input type="checkbox"/> 構造物等にきめ細かな施工がなされている。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</div> <div><input type="checkbox"/> 操作設備の総合的な機能、運転性能が優れている</div>			

(検 査 員)

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																					
3. 出来形及び出来ばえ	農林道開設工事 (土工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。																					
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> その他 理由：						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。																					
II. 品質	(コンクリート構造物工事)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 理由：						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。																					
		●判断基準 <table><tr><td></td><td>はらつきで判断可能</td><td>はらつきで判断不可能</td></tr><tr><td>50%以下</td><td>a</td><td>a'</td></tr><tr><td>80%以下</td><td>a'</td><td>b</td></tr><tr><td>90%以上</td><td>a'</td><td>b'</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>b</td><td>c</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b'</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td></tr></table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>							はらつきで判断可能	はらつきで判断不可能	50%以下	a	a'	80%以下	a'	b	90%以上	a'	b'	75%以上90%未満	b	c	60%以上75%未満	b'	c	60%未満	b'	c	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
	はらつきで判断可能	はらつきで判断不可能																											
50%以下	a	a'																											
80%以下	a'	b																											
90%以上	a'	b'																											
75%以上90%未満	b	c																											
60%以上75%未満	b'	c																											
60%未満	b'	c																											
		●判断基準 <table><tr><td></td><td>はらつきで判断可能</td><td>はらつきで判断不可能</td></tr><tr><td>50%以下</td><td>a</td><td>a'</td></tr><tr><td>80%以下</td><td>a'</td><td>b</td></tr><tr><td>90%以上</td><td>a'</td><td>b'</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>b</td><td>c</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b'</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td></tr></table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>							はらつきで判断可能	はらつきで判断不可能	50%以下	a	a'	80%以下	a'	b	90%以上	a'	b'	75%以上90%未満	b	c	60%以上75%未満	b'	c	60%未満	b'	c	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
	はらつきで判断可能	はらつきで判断不可能																											
50%以下	a	a'																											
80%以下	a'	b																											
90%以上	a'	b'																											
75%以上90%未満	b	c																											
60%以上75%未満	b'	c																											
60%未満	b'	c																											

考查項目別運用表

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																							
3. 出来形及び出来ばえ	農林道開設工事 (法面工事)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																							
Ⅱ. 品質		<div>●評価対象項目</div> <div>【共通】</div> <div><input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)</div> <div><input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起らないよう締固めを十分行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div> <div>【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】</div> <div><input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> ネットなどが破損が生じていないことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div> <div>【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリート又はモルタル吹付工関係</div> <div><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 金網が破損が生じていないことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div> <div>【現場打設工関係（プレキャスト法枠工含む）】</div> <div><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他理由：</div>					<div>●判断基準</div> <table><tr><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a'</td><td>a'</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>				50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	評価値	90%以上	a'	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
	50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能																											
評価値	90%以上	a'	a'	b																											
	75%以上90%未満	a'	b	b'																											
	60%以上75%未満	b	b'	c																											
	60%未満	b'	c	c																											

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

考查項目別運用表

考 査 項 目		工 種		(検 査 員)																															
		a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ	●評価対象項目	<div>理由： </div> <div>【アスファルト舗装工関係】</div> <div><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>理由： </div>																																	
	Ⅱ. 品質																																		
		<div>●判断基準</div> <div><table><tr><td></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評 価 値</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table></div> <div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</div> <div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div> <div>③ 評価値()＝該当項目数()／評価対象項目数()</div> <div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</div>								ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能		50%以下	80%以下	80%を超える		評 価 値	a	a'	b	b	a'	b	b'	b'	b	b'	c	c	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
評 価 値	a	a'	b	b																															
	a'	b	b'	b'																															
	b	b'	c	c																															
	b'	c	c	c																															
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																	

考查項目別運用表

		(検査員)			
考 査 項 目	工 種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	農林道開設工事	●評価対象項目 【土工事】 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、緩衝部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 渾水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 【コンクリート構造物工事】 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 【補強土壁（ジオスタティク）工事】 <input type="checkbox"/> 材料に細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良い。または クラックがない。 <input type="checkbox"/> 天端 端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 【コンクリートブロック等二次製品の多い工事】 <input type="checkbox"/> 二次製品等材料に細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良い。または、クラックがない。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 【法面工事】 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 【舗装工事】 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
		●判断基準 評価区分は、80％程度以上を「a」とする 60～80％程度を「b」 40～60％程度を「c」 40％程度以下を「d」 ※ 工事費に占める割合が単独工種で50％を超える場合は、その工種単独で評価する。 ※ 単独工種で50％に満たない場合は、工事費割合の大きい順に50％を超えるまで、複数の工種を選定し総合的に評価する。			
		※ ブロック積工とプレキャスト水路工が両方とも主要工種の場合等は、複写して別々に評価してください。			

考查項目別運用表

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

農地海岸工事

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞
[関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験]
※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞
[関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験]
※ ばらつきの判断は別紙－4 参照。

● 評価対象項目

① 【共通編】

右風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び避難設備の対策を講じていることが確認できる。

工事期間中, 1 日 1 回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。

濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。

既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。

その他

理由：

② 【基礎捨石・被覆石】

施工基礎を平滑に仕上げていることが確認できる。

捨石, 被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。

捨石, 被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され, 記録により確認できる。

航行船舶及び一般船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。

その他

理由：

③ 【被覆ブロック】

コンクリートの圧縮強度を管理し, 必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていること

運搬, 打設, 締め固めが, 気象条件に適しており, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。

転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。

コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており, コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ反応抑制等)が確認できる。

コンクリート打設までにさび, どろ, 油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。

鉄筋の組立及び加工が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており, 温度, スランプ, 空気量等の測定結果が確認できる。

コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。

製作ヤード及び仮置場は平滑に仕上げられている。

有害なクラックが無い。

(一般消波) ブロック相互の噛み合せ良く, (異型消波・根固め消波) 接合部の段差がない等安定な状態で施工され, 記録により確認できる。

その他

理由：

④ 【護岸工】

運搬, 打設, 締め固めが, 気象条件に適しており, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。

基礎工において, 過掘が無く施工していることが確認できる。

有害なクラックが無い。

コンクリートの打設前に, 打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。

鉄筋の品質が, 証明書類で確認できる。

施工基礎を平滑に仕上げていることが確認できる。

裏込材及び叩込めコンクリートの締固めを, 空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。

その他

理由：

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。

考查項目別運用表

考 査 項 目		工 種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ		農地海岸工事	● 評価対象項目		●判断基準③	
			<div><input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面の状態が良い。</div> <div><input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。</div> <div><input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。</div> <div><input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。</div> <div><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</div> <div><input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。</div> <div><input type="checkbox"/> 石等のかみ合わせが良く、緩みがない。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</div>			
III. 出来ばえ						

(検査員)

(検査員)

考查項目別運用表

考 査 項 目	工 種	(検 査 員)			
		a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	パイプライン工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえ（施設のとおり等）の良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 構造物・施設の表面に、傷・鏽等がない。 <input type="checkbox"/> さめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧の状況が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	● 判断基準 該当4項目以上・・・・・・・・a 該当3項目以上・・・・・・・・b 該当2項目以上・・・・・・・・c 該当1項目以下・・・・・・・・d		